

6-1 危険防止のために

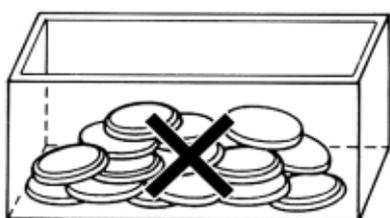
トラブル発生事例と解説

電池どうしが相互に接触しないよう、所定のトレーに正しく入れて保管してください。

発火

流通段階で新品電池を約2000個廃棄するため、20個入りトレー容器から電池を取り出してダンボールへごちゃ混ぜ状態で投入しました。約30分程度で電池から発煙し、数分後に発火してしまいました。

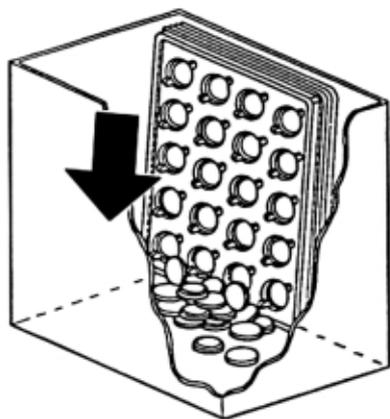
事例 ごちゃ混ぜ状態で発火



破裂

OEM向けトレー詰め電池で中間梱包20個入り(あるいは40個入り)トレー容器を10枚重ねて梱包し、流通段階で中間梱包(10トレー)を開梱してお客様へ5枚分を納入したところ、お客様先で小箱の中にトレーを斜めに保管したため、トレー容器から電池が落ちて小箱の中で電池がごちゃ混ぜ状態となり、電池の一部が破裂してしまいました。

事例 ごちゃ混ぜ状態で破裂

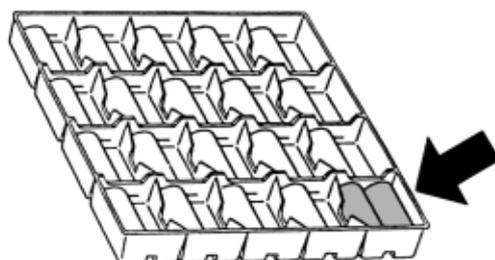


電池の保管等は、電池どうしが相互に接触しないよう所定のトレーに正しく入れて保管してください。

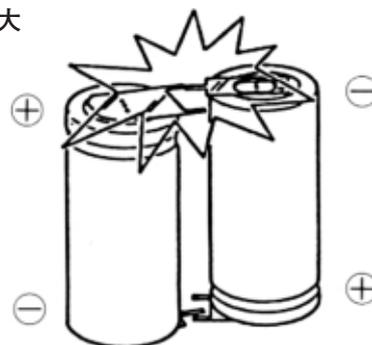
発熱

タブ端子付き円筒形リチウム電池を、流通段階で図のように21個の端数を納入をするために所定の20個入りトレーの1個入り部分に2個の電池を交互に入れたため、タブ端子が相互に接触、外部ショートして2個の電池温度が急激に上昇、発熱し外装チューブが破れてしまいました。

1個分のスペースに2個入れたため、端子が相互に接触・外部ショートしました。(←部)



→部の拡大



発熱・容量消耗